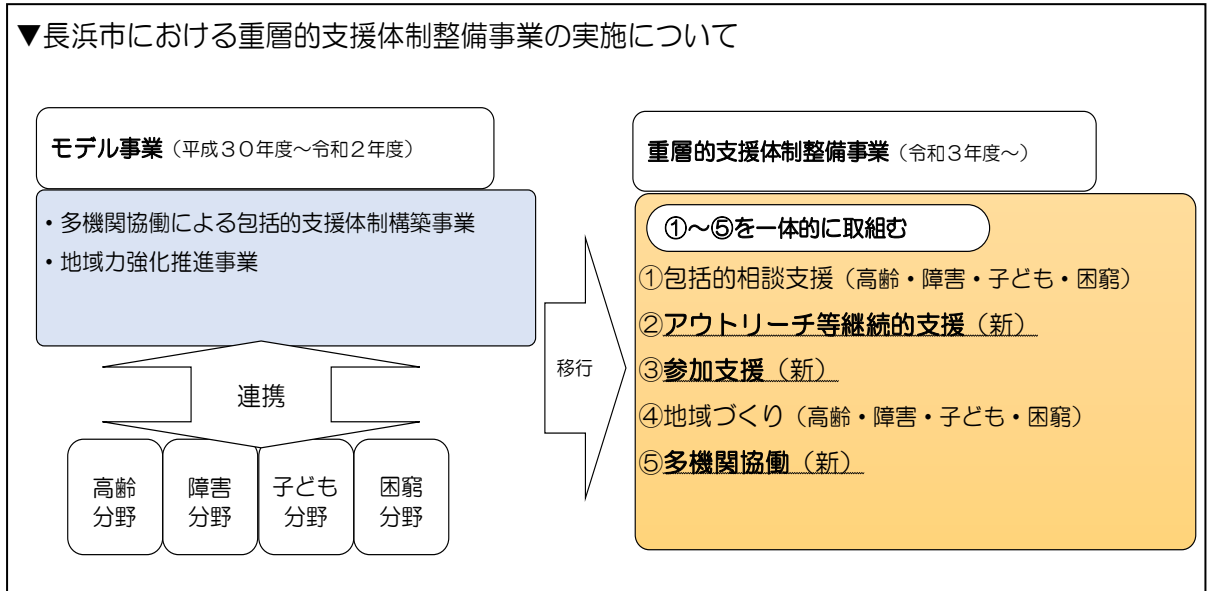


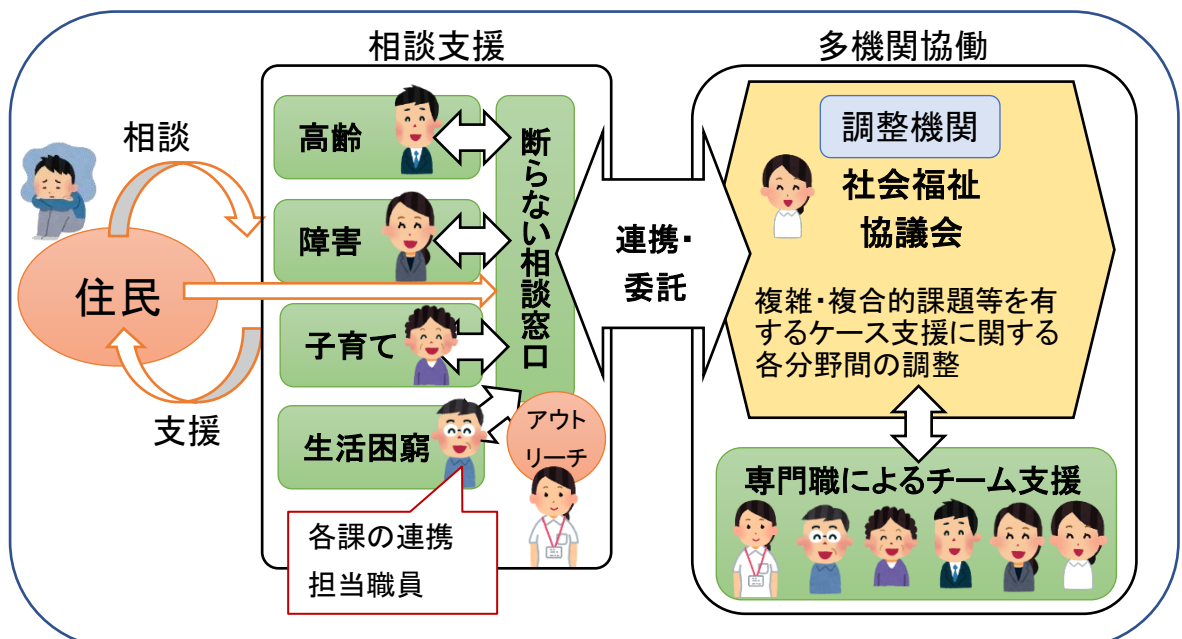
重層的支援体制整備事業について

○長浜市の取組み



① 相談支援（断らない相談窓口の設置）について

- 当市ではワンストップ窓口を作らず、個別相談連携方式とした。
- 各相談窓口でこれまで築いた各分野の専門性を活かし、相談を受けた機関がきちんと相談を受け止め支援につなぐ。
- 担当課で解決できないことは、各課に配置の「連携担当職員」が「断らない相談窓口」につなぐ。
- 各関係機関の横断的な連携・コーディネート機能（多機関協働）は、社会福祉協議会へ委託して実施。関係者が連携して課題解決に向け支援する。



② 参加支援、③地域づくり支援について

- 参加支援、地域づくり支援についても、社会福祉協議会と協働で居場所づくりや地域課題の解決に向けた取組みを実施している。
- 市内 15 箇所の地区社会福祉協議会ごとに、「暮らしの支え合い検討会」を立上げ、コーディネーターを配置し、地域の課題解決に向けた取組みを支援している。
- 地域食堂や買い物支援などの既存事業の展開のほか、新たな居場所づくりの資源開拓や多様な働き方を提案できる仕組みづくりなど、福祉の分野に限らず、市民活動、産業などとも連携して進めている。

「暮らしの支え合い検討会」の目的

- ①地域の様々な困りごとを受け止め共有する場
- ②困りごとの解決に向けた「仕組み」を検討する場
- ③住民と専門職の連携を深める場

○取組事例（虎姫地域）

地域食堂（縁が和カフェ）

人間が生きるうえで必要な“食べる”ことを通じて、誰でもふらっと立ち寄れる、家の縁側のような場をつくろうと活動しています。はーとらファーマーから収穫物を提供してもらった縁側カフェの焼き芋会は、夕方子どもたちが学校帰りに立ち寄れるような時間帯に開催したことで、想像以上の盛り上がりを見せました。



買い物支援（たすけあい隊）

虎姫地区の「安心・安全」な暮らしを実現するため、たすけあい隊が結成されました。その主な活動は、買い物支援です。この支援を心待ちにしていた利用者には、同居者がいても迷惑をかけたくないことから参加を希望する方や、買い物の時に小さな文字を読んでもくれる人がいるのは助かると、移動以外の支援も喜ばれることがわかりました。



○さざなみタウン

人・文化・産業が織りなす、活力と魅力あふれる都市空間の創造



<断らない相談窓口>

長浜市健康福祉部社会福祉課

担当：総合相談係 下村・富永

電話：0749-65-6536

Email: fukushi@city.nagahama.lg.jp

～どんなご相談にもお応えいたします～